

まほろば秦野通信

平成30年3月2日

タイトル	<p align="center">～源実朝のゆかりの地・秦野で～ 源実朝を題材とした野外演劇「実朝出帆」を開催</p>
When (いつ)	3月17日(土曜日)・18日(日曜日) ※雨天決行・荒天中止 両日とも午後3時～5時(午後2時40分開場)
Where (どこで)	田原ふるさと公園中丸広場(東田原999) ※秦野市指定文化財(史跡)の「源実朝公御首塚」前
Who (だれが)	主催：マグカル・フェスティバル実行委員会(事務局：神奈川県文化課) 共催：秦野市 後援：実朝まつり実行委員会 運営：センターフィールドカンパニー合同会社
What (なにを)	<p>神奈川県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出すマグネット・カルチャー、略して「マグカル」の取組を推進しています。その一環として、神奈川県文化課が事務局を務める「マグカル・フェスティバル実行委員会」と秦野市生涯学習文化振興課が連携し、山崎正和氏の代表作「実朝出帆」の野外演劇公演を開催します。</p> <p>この公演では、県内の若手演劇人を登用し、本市にゆかりのある鎌倉幕府3代将軍・源実朝を題材とした野外演劇を通じて、文化芸術への理解を高めるとともに、実朝を地域資源として、まちづくりを進める本市東地区の魅力発信につながることを期待しています。</p>
How (どのように)	<p>【作品概要】 北条氏や朝廷との政治闘争に巻き込まれていく実朝が、宋に渡るための造船事業に自らの希望を託していく様子を描く。</p>
Why (なぜ)	<p>【定員・料金】 ・各日200名(事前申込制) ・秦野市民は無料(市外は有料。20歳以上1,000円、19歳以下500円)</p> <p>【申込方法】 下記電話又はE-mailで受付。受付時に「観覧日」「人数」「氏名」を申請 ・受付先 センターフィールドカンパニー合同会社 ・電話 070-1467-9274(受付時間:10時～18時) ・メールアドレス center_field_llc@yahoo.co.jp</p>
その他	地域との交流を深めるため、出演者の若手演劇人が、秦野市立北中学校に3月13日(火)・14日(水)の両日午後3時に出向き、27日(火)に北公民館で発表会を開催する演劇部(部員22人)の演技指導を行います。
問い合わせ	秦野市生涯学習文化振興課 佐藤、笹森 電話0463(84)2794

平成三十年三月十七(土)十八(日) 十五時

秦野市田原ふるさと公園内源実朝公御首塚周辺

◎料金 二〇歳以上…一、〇〇〇円 十九歳以下…五〇〇円 (秦野市民無料)

◎要予約(当日券あり)

◎雨天決行、荒天中止

一二二六年、源実朝 二十四歳

鎌倉三代将軍は

宋に渡るための船を造りはじめた――

野外劇

実朝出帆

演出 中野敦文
作 山崎正和

さねともしゅつぱん

【ご予約・お問い合わせ】

電話▼070-1467-9274

メール▼center_field_llc@yahoo.co.jp

実朝出帆

作 山崎正和 演出 中野敦之

『劇的な日本人』『柔らかな個人主義の誕生』などの評論で知られる山崎正和氏の代表作。
鎌倉3代将軍・源実朝を主人公に、北条氏や朝廷との政治闘争に巻き込まれてゆく実朝が、宋に
渡るための造船事業に自らの希望を託していく様子を描いたものです。
この劇を、実朝公の首級が祀られている秦野市田原地区で上演します。

あらすじ

ここは靈魂たちの語らう場。かつて、鎌倉3代将軍 源実朝を取り巻いていた人々は、
死して尚、実朝の真意について話し合っている。
源氏の棟梁、征夷大将軍にして和歌に精通し、公家の最高官位をも目指した実朝。
譜代の有力御家人と北条氏の政争、幕府と朝廷との軋轢に悩みながら、彼が宋に渡るための
造船事業に託したものは何だったのか。その問いに答えを出したい、死者たちによって劇
中劇が演じられる。
将軍となり10余年。側近・和田胤長の謀反から和田合戦へと至り、混沌とする鎌倉を
舞台に、宋人・陳和卿の進言を受けて進められる渡宋計画...。
悲運の青年将軍・実朝が、今ひとたびの出帆を開始する。

出演



清水 優譲 佐々木 恭祐 島原 久典 小川 哲也 鷲見 武 重村 大介



熊野 晋也 津内口 淑香 林 麻子 米澤 剛志 真野 浩史

【スタッフ】

舞台監督/齋藤亮介 演出助手/熊野晋也 美術協力/國元美沙希 米沢のぞみ
音響/重村大介 照明/齋藤亮介 衣装/林麻子 制作/津内口淑香 井尻有美

作 山崎正和 やまざき・まさかず

1934年京都府生まれ。京都大学大学院博士課程修了、劇作家、評論家として文明批評などで幅広く活躍。63年『世阿弥』で岸田國士戯曲賞を受賞したほか多くの賞を受賞。関西大学、大阪大学の教授を経て99年に東亜大学学長就任。99年紫綬褒章を受章。著書に『世阿弥』『鴉外 闘う家長』『社交する人間』『装飾とデザイン』等。

演出 中野敦之 なかの・あつし



1981年、名古屋生まれ。99年、横浜国立大学入学と同時に唐十郎教授に師事。唐十郎ゼミナールを経て、05年に劇団唐ゼミ☆を創立。05年、新国立劇場のプロデュース公演にて演出を行い、同劇場が取り上げた演出家として、最年少記録をうちたてた。国内外で唐十郎の新作、旧作を新しい演出により上演。難解で知られる唐作品の読解と現代の観客への普及、テントや野外での公演、イベントの企画・運営を得意とする。



主催：マグカル・フェスティバル実行委員会
共催：秦野市 運営：センターフィールドカンパニー合同会社
後援：実朝まつり実行委員会
協力：懸樋プロダクション、劇団剣舞プロジェクト、サムライブロモーション、平泳ぎ本店、マグカル・パフォーミングアーツ・アカデミー、studio salt、横浜国立大学、横浜都市文化ラボ、劇団唐ゼミ☆

マグカルとは？

神奈川県では、文化芸術の魅力で人を引きつけ、地域のにぎわいをつくり出すマグネット・カルチャー、略して「マグカル」の取組を推進しています。その一環として、県内の若手演劇人等を登用した野外演劇公演を開催します。

日時／

2018年 3月 17日(土)・18日(日)

開演 15:00 (開場 14:40)

料金／

20歳以上 ¥1,000 19歳以下 ¥500

※要予約(当日券あり)

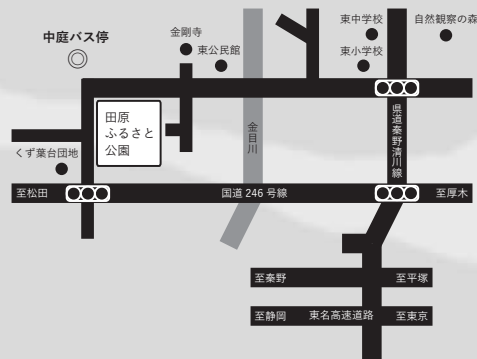
※前売・当日ともに料金は一律です。

秦野市民無料

※申し込みの際にご申告ください。

定員／各200名

会場／秦野市田原ふるさと公園



▶公共交通機関をご利用下さい。電車・バスをご利用する場合、小田急線秦野駅下車、藤棚行きバス(秦23)または秦野駅循環(秦26)(秦27)で中庭下車後、徒歩3分。
※バス所要時間 15~20分

ご予約・お問い合わせ／

tel: 070-1467-9274 (10:00~18:00)

mail: center_field_llc@yahoo.co.jp